

ACE 人権通信 8月 August

人権教育・啓発通信：「エース」
発行：阿南中学校PTA家庭・人権教育部
2025年8月21日（木）
文責：人権教育主事 吉野 有佳

毎日、暑い日が続いていますが、みなさんは夏休みをどう過ごしていますか？いつもより静かな学校ですが、汗をいっぱいかきながら部活動に一生懸命取り組む姿が見られます。4月からの約4か月を振り返ってみると、阿南中生のよいところをたくさん見ました。困っている人がいたらサポートしてくれる生徒がいたり、廊下を通ると挨拶してくれる生徒もいたりして幸せな日々を過ごすことができました。生徒同士でも友だちのよいところや頑張っている姿を見つけることができましたようです。

6・7月には人権部主体で、人権ポスター原画コンクールと人権のつどいを行いました。原画コンクールでは、各学年から最優秀賞と優秀賞を選び、7月のつどいで表彰しました。また、各学級の代表作品を職員室前廊下に掲示していますので、ぜひ、見てください。

◇人権のつどい

人権のつどいの前半は学級代表の生徒が身近にある人権課題や自分自身の実体験などさまざまな視点で書いた人権作文を発表することができました。また、作文の発表を聞いて感想を書いたり、意見を発表したりする時間を設け、より深まりのある人権意見発表会となりました。

後半は「やさしさ」について考えました。どんなときにやさしさを感じるのか、どんな人をやさしいと思うか、学年のみんなや先生方と一緒に考え、共有しました。人によって「やさしさ」は違っていいと思います。しかし、どの「やさしさ」にも必ず相手がいる、その「やさしさ」は必ず伝わっているということは同じだと私は思います。



4人の作文発表や他の活動、すべてがとても心を温かくしてくれるもので、自分を成長させてくれた2時間でした。4人の作文を聞いて、勇気を出して行動することはこんなにも大事なことであったと思いました。今日の学習をこれからの日常生活につなげていきたいです。（1年 山田 大智さん）

4人の発表で、それぞれが思う人権を感じたし、私もそういう人になりたいと思える発表でした。やさしさを考える時間では、誰かのために行動することや相手の気持ちを尊重することなどの意見を聞いて、やさしさは相手のための思いだと思いました。私も人のために尽くせる優しい人間になれるように少しずつ努力していきたいと思いました。（1年 馬着 結菜さん）

人権のつどいをして、改めて一日一日を大切にしたり、今いる仲間を大切にしたりしたいと考えました。人のやさしいと思うことは人それぞれ違っているとみんなの発表を聞いて分かったので、自分が思う相手の優しさをたくさん見つけていきたいです。（2年 湯浅 心菜さん）

発表してくれた人の気持ちや意見だけでなく、作文の中にでてきた人、みんなの感想など様々な考え方を聞いて、自分の中にもその考えをもって生きようと思いました。私が一番心に残ったのは「いらついたという気持ちがあっても、そこにうざいやキモいなど余計なものを入れてはいけない」という言葉です。（2年 須賀 芽衣さん）

やさしい人とか身近なことなのに考えたことがなくて、自分ではよく分からなかったけど、みんなの意見を聞いて、「こういう人が優しい人か」と思ったので、それに近づけるようにがんばりたいと思った。（3年 矢野 碧人さん）

「やさしさ」に対して、何がやさしさなのかについて考え、自分が考えたやさしさを実行していきたいと思いました。また、人権作文では、今まで考えたり、思いついたりしなかったことがたくさんあり、自分もこうしていきたいと思える貴重な時間を過ごせました。特に大切だと思ったのは、友達や知人、家族以外への思いやりをもった行動をすることです。同じような気持ちで色々な人に接することができる人になりたいです。（3年 立岩 希乃香さん）

◇阿南市中学校人権に関する意見発表会

8月5日に那賀川中学校で阿南市中学校人権に関する意見発表会が行われました。本校からは、2年生黒田杏さんが「想像」という作文を読んでもらいました。沖縄へ修学旅行へ行って学んだこと、ひいおばあちゃんから聞いた戦時中の話、自分の思ったことを言葉で伝えていかなければいけないこと。今年は戦後80年の年です。戦没者追悼式の参加者の半数以上が戦争を経験していない方だったとニュースで知りました。二度と戦争を繰り返さないように私たちは何を学び、何を伝えていかなければならないのでしょうか？

また、阿南市の他校の中学生の作文発表も聞きました。言葉の大切さや人を見た目で判断してはいけないことなどさまざまな視点からの作文があり、とても勉強になりました。



私は戦争について発表しました。他の人は身近な人権のことなどを話していて、同じ人権でも感じ方は、色々あるのだと感じました。どの発表も心に残っており、とても考えさせられました。これからは相手の気持ちに寄りそい、自分にできることを行動にうつしていきたいです。（2年 黒田 杏さん）

◇阿南市人権教育・啓発市民講座に参加して

6月24日に徳島被害者支援センター副理事長の三原由紀子さんによる「犯罪被害者等の実情と必要な援助について」と題した講演があり、家庭人権教育部の方が参加してくださいました。

高齢者の方は、交通事故や詐欺の被害者になることが多く、気をつけなければいけないと教えていただきました。子どもはSNSを通じて誘拐や性犯罪に巻き込まれるケースが増えていると教えていただきました。家庭や地域でつながりを持ち、お互いに気かけたり困ったことがあったら相談できる関係を築いていきたいと思いました。（竹内 彩さん）